

日本における宗教テキストの諸位相と統辞法

日本の豊穡な宗教世界を、テキスト学の視点からその体系と構造を対象として、通時的な方法論も含みながら、分野横断的にその多様な位相を解析し、それらを貫く普遍的な統辞法を析出することを試みる。
(学術責任者 阿部泰郎)

7/18(金)

プレ・カンファレンス 真福寺大須文庫聖教展観 (中世宗教テキストの世界)

12:00—16:00 資料展示と解説

14:00—16:00 ワークショップ「栄西と初期禅宗に関する新出聖教断簡の復原」

座長: 末木文美士 (東京大学大学院教授)

牧野淳司 (明治大学講師)

米田真理子 (大阪大学非常勤講師)

和田有希子

(於: 大須観音真福寺宝生院本堂1Fホール)

7/19(土)

9:00—9:10 開会あいさつ: 佐藤彰一 (名古屋大学GCOE拠点リーダー)

9:10—9:25 主旨説明・全体日程説明

9:30—12:30 **第1部会 「古代・中世仏教と目録学——宗教テキストの座標としての目録」**

座長: 落合俊典 (国際仏教学大学院大学教授) 「興福寺と法金剛院蔵の章疏目録」

ブライアン・ルパート (イリノイ大学准教授) 「目録にみる中世真言密教寺院の聖教——その伝播と変遷」

大塚紀弘 (日本学術振興会特別研究員) 「徳運寺平安古經典と『貞元録』——源遠平発願一切経の発見」

コメンテーター: 上島 享 (京都府立大学准教授)

13:30—14:45 **【基調講演】「儀礼により生成される完全なる身体——中世密教の「非正統的」図像と修法をめぐる」**

ルチア・ドルチェ (ロンドン大学教授・SOAS日本宗教研究センター所長)

15:00—18:00 **第2部会 「日本密教のテキスト世界——儀礼の生みだす聖なるテキスト」**

座長: 上川通夫 (愛知県立大学教授) 「如法尊勝法聖教の生成」

松本郁代 (横浜市立大学准教授) 「中宮御産と密教——『宝秘記』尊星王御修法をめぐる」

ラポー・ガエタン (フランス高等研究院博士課程・東京大学史料編纂所) 「宝蓮『四度加行』にみる南北朝期密教儀礼」

コメンテーター: 彌永信美

18:30—20:30 レセプション (ルブラ王山)

7/20(日)

9:00—12:00 **第3部会 「日本宗教と儀礼テキスト——テキストとして読む民俗宗教」**

座長: 鈴木正宗 (慶應義塾大学大学院教授)

松尾恒一 (国立歴史民俗博物館准教授) 「建築儀礼をめぐる宗教者・職能者と儀礼テキストの特質」

永松 敦 (宮崎公立大学准教授) 「民俗宗教テキストと儀礼の形成」

梅野光興 (高知県立歴史民俗資料館学芸員) 「いざなぎ流 祭文と呪術テキスト」

小林奈央子 (名古屋国際高等学校教諭) 「テキストとしての御嶽信仰——御座儀礼が生みだす「ものがたり」」

13:00—14:15 **【基調講演】「釈教歌における言葉と宗教の関係」**

ジャン・ノエル・ロペール (フランス高等研究院教授・学士院会員)

14:30—18:30 **第4部会 「宗教テキストとしての和歌——ウタは、なぜ必要か、なぜ詠むのか」**

座長: 錦 仁 (新潟大学教授)

海野圭介 (ノートルダム清心女子大学准教授) 「和歌を伝える聖俗——テキスト、儀礼、そして座の荘厳をめぐる」

清水真澄 (学習院大学非常勤講師) 「法会と歌詠」

平野多恵 (十文字学園女子大学短期大学部講師) 「なぜ明恵は和歌を詠んだか——中世僧侶における歌詠」

山本章博 (学習院高等科教諭) 「宗教テキストとしての寂然『法門百首』」

7/21(月・祝)

9:00—12:00 **第5部会 「神道というテキスト世界——神話の思想と儀礼の思考」**

座長: 岡田莊司 (國學院大学教授)

藤森 馨 (国土館大学教授) 「二神約諾神話の形成」

原 克昭 (早稲田大学非常勤講師) 「思想史文献としての〈神代巻抄〉——生成と再生」

アンドレーワ・アンナ (ケンブリッジ大学・ギルトンカレッジ研究員) 「三輪流関係資料に見られる神祇灌頂——その形成・種類・意義」

大東敬明 (國學院大学博士課程) 「寺院儀礼における中臣祓——東大寺修二会『大中臣祓』の典拠」

13:00—15:30 **第6部会 「宗教図像テキストの世界——聖徳太子図像の宇宙」**

座長: 米倉迪夫 (上智大学教授)

津田徹英 (東京文化財研究所研究員) 「中世における聖なるかたちとしての童子形聖徳太子像とその機能」

太田昌子 (金沢美術工芸大学教授) 「法隆寺の聖徳太子絵伝を読み解く——絵の描かれた信仰環境をテキストとして」

村松加奈子 (名古屋大学博士課程) 「中世聖徳太子絵伝の展開と受容——中世絵伝のネットワーク」

16:00—18:30 [総括報告・討論] 阿部泰郎・各座長および全参加者

エクスカーション 北陸真宗寺院の儀礼における宗教テキストの諸相と機能

7月22日(火) 9:00 名古屋大学——12:00(昼食) 富山県南砺市城端・善徳寺虫干法会(夏の御文・蓮如絵伝絵解き・宝物開帳) 16:30——城端・桜が池クアガーデンおよび善徳寺宿坊(宿泊)

7月23日(水) 9:00 南砺市井波・瑞泉寺太子伝会(聖徳太子絵伝絵解き)——12:00 五箇山(昼食)——白鳥・白山長滝神社——JR名古屋 17:30——名古屋大学 18:00

バスツアー

定員先着30名。

宿泊代・食事代は各自ご負担ください。

参加申込は19日~21日会場にて受け付けます。